

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成30年9月東北分
 (東北6県)」について

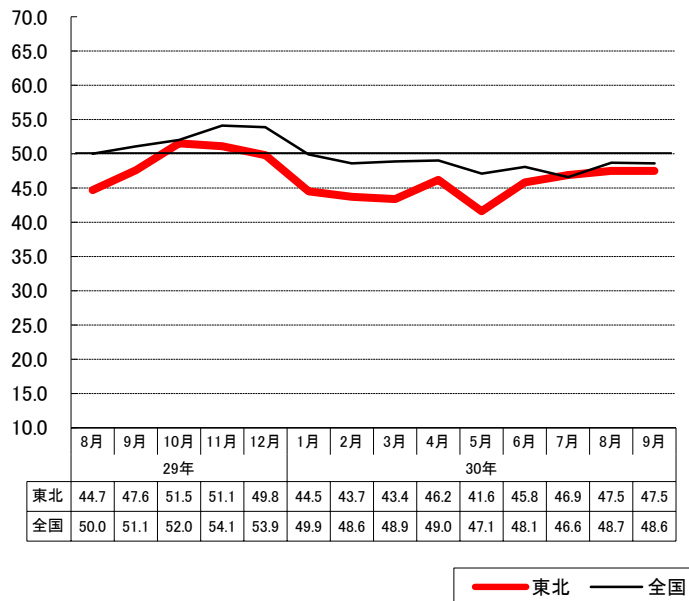
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成30年9月東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「47.5」と前月と同値、横ばいとなった。

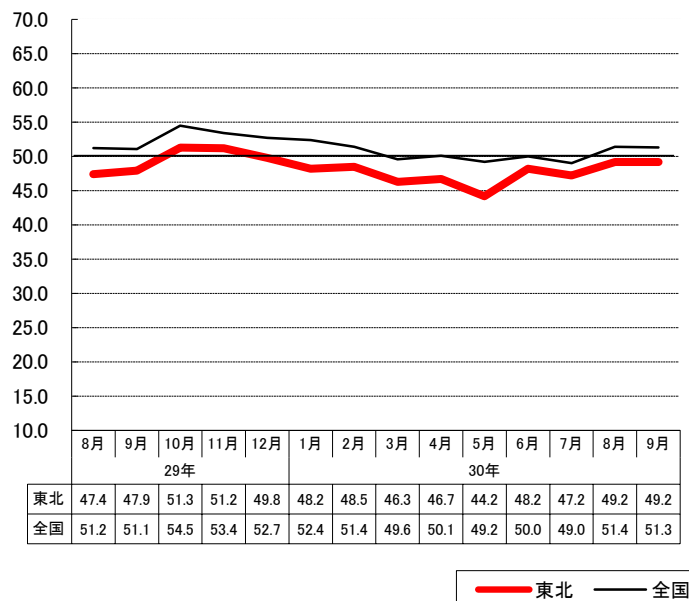
現状判断DIの推移



(2) 先行き判断（2～3ヶ月前先の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断DIは「49.2」と前月と同値、横ばいとなった。

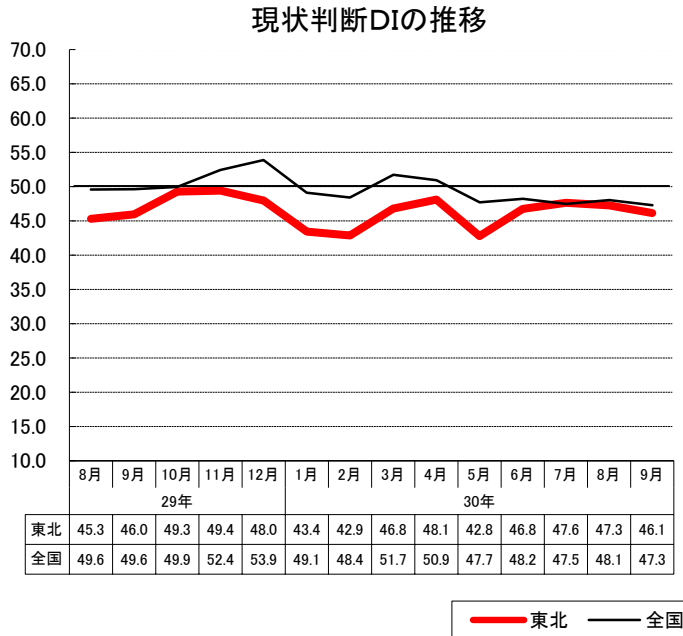
先行き判断DIの推移



2. 原数値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性）

現状判断DIは「46.1」と2ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.2ポイントとやや下回った。



○家計動向関連…ショッピングセンター、住関連専門店、住宅販売会社の業種等でDIが前月を上回ったが、設計事務所、リフォーム業、タクシー運転手、コンビニの業種等でDIが前月を下回った。

DIは「44.7」(▲3.0)と4ヶ月ぶりに前月を下回った。

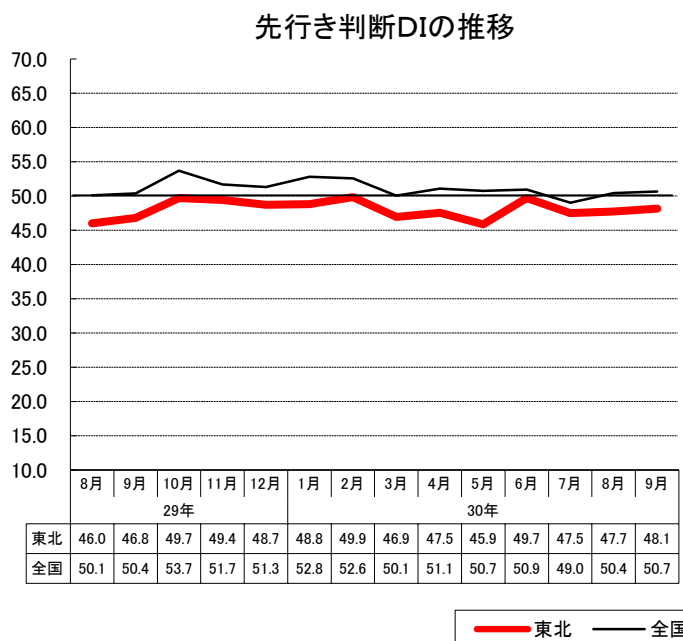
○企業動向関連…出版・印刷業、木材木製品製造業、広告代理店・新聞販売店[広告]の業種等でDIが前月を下回ったが、金属製品製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業の業種等でDIが前月を上回った。

DIは「48.0」(+4.8)と2ヶ月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「51.3」(▲1.3)と2ヶ月連続で前月を下回った。

(2) 先行き判断（2～3ヶ月先の見通し、方向性）

先行き判断DIは「48.1」と2ヶ月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.4ポイントとわずかに上回った。



○家計動向関連…自動車整備業、リフォーム業、衣料品専門店の業種等でDIが前月を下回ったが、ショッピングセンター、タクシー運転手、一般レストランの業種等でDIが前月を上回った。

DIは「47.0」(+0.4)と2ヶ月連続で前月を上回った。

○企業動向関連…金属製品製造業、出版・印刷業、食料品製造業の業種等でDIが前月を下回ったが、繊維工業、広告代理店、建設業の業種等でDIが前月を上回った。

DIは「50.7」(+1.4)と4ヶ月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「50.0」(▲1.3)と、2ヶ月連続で前月を下回った。

<参 考>

■DIの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）DI

	29年					30年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東北現状	45.3	46.0	49.3	49.4	48.0	43.4	42.9	46.8	48.1	42.8	46.8	47.6	47.3	46.1
家計動向関連	44.4	46.8	48.5	48.5	46.4	42.0	40.9	45.7	47.4	40.1	46.3	46.7	47.7	44.7
企業動向関連	44.7	45.3	50.0	50.0	48.0	41.7	45.1	46.6	49.3	45.3	44.4	45.1	43.2	48.0
雇用関連(参考)	51.3	42.5	52.5	53.8	57.9	55.0	50.0	53.9	50.0	53.9	54.2	57.9	52.6	51.3

（2）先行き判断DI

	29年					30年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東北先行き	46.0	46.8	49.7	49.4	48.7	48.8	49.9	46.9	47.5	45.9	49.7	47.5	47.7	48.1
家計動向関連	45.9	45.7	48.9	48.2	47.2	48.9	50.9	46.8	46.8	43.9	50.2	46.3	46.6	47.0
企業動向関連	45.4	49.3	50.0	48.7	50.0	45.1	45.8	45.9	47.9	46.6	47.2	48.6	49.3	50.7
雇用関連(参考)	47.5	48.8	53.8	57.5	55.3	55.0	51.3	50.0	51.3	56.6	51.4	52.6	51.3	50.0

※DI（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 30 年9月 25 日～30 日

回答者数 175/189 名、回答率 92.6%(全国 1,850/2,050 名、90.2%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：伊藤 好春）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL : 022-225-1426 FAX : 022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（衣料品専門店）…夏が非常に暑かったにもかかわらず、9月から急に涼しくなったことで、衣替えを意識する客が増えている。クールビズ終了後の10月に向けて、シャツやネクタイなどの準備のため早めに客が動いている状況であり、ほぼ順調に推移している。

（家電量販店）…冷蔵庫や洗濯機などの買換え需要は順調であり、前年よりも少し単価が上がっている。季節商材についても、まだ猛暑のイメージが残っているのか、エアコンの買換え需要が順調であり、販売個数、単価共に前年を上回っている。また、テレビなども4K放送開始前ということで、実績は前年を5%上回っている。

（自動車整備業）…需要期ということもあり、9月に入り来客数、販売量、販売単価共に好調である。

（住宅販売会社）…消費税の引上げを意識している客が多く、完成時期の問合せが増えている。

（電気機械器具製造業）…新製品開発状況は順調に推移しており、それに応じて半導体製品の需要も安定している。

（建設業）…民間案件の受注により若干上向きになっている。

（通信業）…話題の商品が発売され、注目が集まっている。

（経営コンサルタント）…週末の3連休が続いたためか、買い回り型の郊外商業施設はにぎわっている。

（新聞社〔求人広告〕）…ここ数か月は地元求人が伸び悩んでいたが、ここにきて少しずつ工場系を中心に増えつつある。また、地元大学を中心にベンチャー企業の立ち上げや、大学と大手企業との連携などがみられている。

○「変わらない」

（商店街）…商店街及び周辺でのイベント効果か、ファーストフード店、飲食店には笑顔が散見されている。しかし、波及効果は物販店にまでは届いておらず、商店街全体としては余り変わらない状況である。

（スーパー）…9月の平均1品単価は前年並みで推移している。生鮮品価格の落ち着きもあり、購入点数は若干良かったものの、来客数の落ち込みがやや大きかったため、全体としての消費の傾向に変化はない。

（住関連専門店）…今月になってから高額商材が売れているが、売上全体としては余り変わりのない状態である。

（観光型ホテル）…来客数は目標値を超えているものの、前年同月の来客数には達していない。

（都市型ホテル）…台風の影響によるキャンセルはあったものの、宴会はほぼ前年並みで推移している。また、宿泊も前年より団体客は減ったものの、大幅な減少には至っていない。

（タクシー運転手）…乗車人数と行き先などからは、日常生活の楽しみに関わるようなことが少しずつ増えていることがうかがえる。車中における客の会話からも良いムードがみられており、景気の気の部分が上向きになっている様子である。

（通信会社）…災害の影響が今月も続いている。前月と同様の状態であり、新発売のスマートフォンも低迷しているなど、各キャリア共に苦戦している様子が見える。景気回復の兆しがみえない状況である。

（リフォーム業）…小さな工事は前月と変わらないが、塗装工事などの高額な工事は前月よりも減っている。

（人材派遣会社）…相変わらず外食産業や小売業、商社から求人の問合せがきている。ひっ迫している状態であるのか、留学生や外国人の雇用を確保できないかという話もあるなど、積極的に人を取りたい企業が増えている。

（職業安定所）…月間有効求人数は3か月前と比較して1.8%減少しているものの、例年の動きと同様であり、景況感に大きな変化はみられていない。

○「やや悪くなっている」

- (酒類販売店) …長引く天候不順や、直接的な被害はなかったものの、度重なる天災の影響は大きい。特に旅館や観光施設への販売量が著しく減少している。消費者は今まで以上にものを買うことや金を使うことに消極的になっている。
- (百貨店) …秋物の実需期を迎えるタイミングであるが、購入点数、客単価共に動きが鈍い。ただし、比較的低価格帯の商品の動きは良く、消費者の生活防衛意識の根強さがうかがえる。
- (コンビニ) …来客数の減少が続いている。週末の落ち込みが特に大きく、9月の来客数は前年比マイナス5%となっている。
- (乗用車販売店) …新型車、中古車販売及びサービス売上は前年比微減で推移している。特に車両販売では新型車の売行きに陰りがみえており、今後の懸念される。
- (ガソリンスタンド) …原油コストの上昇が止まらず、販売価格の高値が続いている。猛暑により来客数は増えたものの、節約志向の高まりにより販売量は増加していない。さらに、燃料油以外の販売量が大きく減少している。
- (一般レストラン) …ここ最近の自然災害により、どうしても人が外に出なくなっている。前月が特に良かった分、今月はいつもよりやや悪いくらいである。
- (旅行代理店) …台風21号や北海道胆振東部地震などの自然災害によって、需要が落ち込んでいる。本来であれば旅行の取消しのみで終わるが、今回は先の分まで見通しがきかない。取消しがどれだけ広がるか心配である。
- (設計事務所) …同業者の受注競争が激しくなってきたこともあり、発注案件の落札金額が軒並み低価格となっている。さらに、中央の大手企業がこれまで手を出してこなかった金額の案件の入札に参加するようになってきている。また、当社を訪問する営業マンからは物件がなくて困っているという話も聞いている。
- (窯業・土石製品製造業) …地域間の格差はあるが、東北全体として出荷量が前年比で5%程度落ち込んでいる。
- (広告代理店) …各種学校における入学案内などのコンペ時期となっているが、部数の減少が著しい状態である。
- (コピーサービス業) …毎年夏場は苦戦する時期であるが、特に今年は前年と比較しても1割ほど受注が落ち込んでいる。販売促進策を打っているが、うまく拡販につながらない状態である。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

- (百貨店) …消費増の引上げを来年10月に控えて、消費税率8%での冬物商戦は今季が最後となるため、駆け込み需要による消費の増加が見込まれる。
- (一般レストラン) …レストランにとっては秋～冬はシーズンであり、団体の予約が入り始めている。今よりは来客数も良くなるため、久しぶりに期待をしている。
- (タクシー運転手) …以前と違って、乗車人数の動きや客の会話のムードが非常に良くなっている。そのため、今後の景気の上向きと消費行動の改善を期待している。
- (建設業) …大型公共工事、大型民間工事の受注者確定時期と重なる可能性が高く、今月と比較して更に若干の景気上昇が見込まれる。
- (広告代理店) …東京オリンピックのキャンプ地誘致により、若干の動きがみられている。

○「変わらない」

(寝具販売店)…暑い夏が終わり秋冬物商戦となるが、果たしてどれだけの売上となるか見通しが見えない。メインであるふとん仕立てが苦戦しているため、利幅のある商品をいかに客におすすめするかが今後の課題である。

(スーパー)…前月までの様々な自然災害の影響のほか、原油価格の高騰による各方面への影響を懸念している。石油製品、輸送費、電気料金、原材料価格の上昇が商品価格に転嫁され、消費者の購買意欲に水を差すのではないかとみている。ただし、しばらくは消費の傾向に変化はないとみている。

(衣料品専門店)…これからは防寒着などの単価の高い商材が動く季節になるが、灯油などの価格も上がっているため、消費者は買物を控えるようになるのではないかと不安である。

(観光型ホテル)…観光シーズンである秋口や忘年会の予約状況を見ると、前年よりやや悪い推移となっている。

(旅行代理店)…北海道胆振東部地震の影響で、9～10月という北海道の一番良い時期の販売量が落ち込んでいる。この影響がどこまで今後に影響してくるか心配である。また、個人需要についても、目的はあくまで北海道であるため、代わりに他の地域に行くということはなく、取消しとなってしまう。このような不安定な状態はしばらく続くとみている。

(出版・印刷・同関連産業)…2～3か月先の受注残が、今月と比較して同水準となっているため、景気は横ばいで推移するとみている。

(電気機械器具製造業)…現在の良い状況はしばらく継続する見通しである。関連客の要求を満たすような製品開発を続けることができれば、見通しは明るいとみている。

(人材派遣会社)…登録者不足と求人とのミスマッチは今後も続くとみている。

(職業安定所)…新規求人数は前年同月比で7.2%上昇しているが、充足せずに更新する求人が多い。新規求人倍率は前年同月より上昇しているものの、求職者の減少傾向が続いている。状況に大きな変化はなく、今後も横ばいで推移するものとみている。

○「やや悪くなる」

(コンビニ)…気温に比例して来客数も減少するため、これからは徐々に厳しい季節になっていく。さらに、人手不足も加速しており店を維持するのが難しくなっている。

(観光名所)…気温が下がるため、寒さ慣れするまでは出控えが増えるとみている。

(食料品製造業)…原料価格の値上げが見込まれており、コスト上昇により厳しくなるとみている。

(窯業・土石製品製造業)…業界の見通しにもよるが、落ち込んでいる出荷量に回復の兆しはみえていない。

(コピーサービス業)…仕入れ商品の値上げや、配送コストの上昇などの状況が続いており、取扱商材の見直しや配送システムの変更を検討中である。先行きは明るくない。

(新聞社〔求人広告〕)…企業の人手不足、ガソリン価格高騰、建設受注の減少が懸念材料である。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上